



かけがえのない時間

第63回卒業生 野川真純

私が坂野中学校を卒業したのは今から6年前のことです。中学時代を振り返るきっかけとなったのは成人式でした。もう1年以上経ちますが、昨日のここのように思い出せるほど楽しい一日でした。たくさんの方が集まり、思い出話に花を咲かせました。夜の同窓会にはお世話になった先生方も参加してください、とても貴重なひとときでした。成人を迎え、話す内容も大学生活や仕事のことなど中学生の頃には想像もできなかったことばかりで、みんなそれぞれの道で成長しているのだとお酒を飲みながらしみじみと感じました。幹事をしていた私のもとには「楽しかった、また来年もしたい」といった声も多く寄せられ、卒業してからもこのように集まりたいと思ってくれる仲間がたくさんいるのだととても嬉しくなりました。

成人式が終わってもしばらくは余韻が抜けず、ゆっくりと思い出を振り返ることにしました。勉強面では、ライバルが多く、テスト返却の際にはいつも何点だった、勝った、負けた、とはしゃいでいました。そんなに勉強が好きなタイプではありませんでしたが、そのライバルたちのおかげで勉強に励むことができました。

部活動はバドミントン部に所属していました。1年生の頃は慣れない上下関係に戸惑い、仲間割れが起きたこともありました。それでも話し合ったり助け合ったりしながら、一人も欠けることなく最後の市総合体育大会に出場することができました。3年間の部活動のなかでもそのときのシングルス決勝戦がとて印象に残っています。相手は小松島中学校のキャプテンで、ラストポイントを握られていましたが、仲間たちが見守ってくれているなか、負けるわけにはいかないと必死で喰らいつき、逆転することができました。優勝できたことはもちろんですが、それよりも嬉しかったのはともに練習に励んできた仲間たちがとても喜んでくれたことでした。みんなの笑顔は今でも忘れることができません。高校時代も3年間バドミントンに明け暮れていましたが、この試合以上に嬉しかった試合はありませんでした。あの勝利は仲間とともに掴んだものだったと思います。

このように切磋琢磨してきた友人たちとは今でも集まり刺激しあっています。そんな仲間にもまれて過ごした坂野中学校での思い出は本当にかけがえのない宝物です。名前はなくなってしまうかもしれませんが、坂野中学校卒業生ということを誇りにこれからも精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、新しい中学校が、坂野中学校と立江中学校の良いところをあわせ持った素晴らしい学校になるよう、お祈りさせていただきます。